

第 24 期第 5 回運営委員会報告

日時：平成 20 年 3 月 6 日（木）12:00 - 18:45

場所：東京大学地震研究所 2 号館 第 2 会議室

出席者（敬称略）（17 名/ 定足数 11 人）：歌田久司 津田敏隆

阿部琢美 石井 守 石川尚人 白井英之 小川康雄 北 和之

木戸ゆかり 齊藤昭則 高橋幸弘 田口 真 長妻 努 野澤悟徳

山本 衛 吉川一朗 清水久芳

欠席者（敬称略）：河野英昭

1. 第 24 期第 4 回運営委員会の議事録が承認された。

2. 協賛・共催

次の 2 件の協賛依頼があり、2 件とも承認された。（1）第 14 回プラズマ理工学国際会議（ICPP2008）（協賛）、2008 年 9 月 8 日から 12 日、福岡国際会議場。（2）地学オリンピック日本委員会（協賛、平成 20 年度協賛金 10 万円）。

3. 入退会審査

3.1 入会・退会

次の 3 名の入会、7 名の退会が承認された（敬称略）。

・入会

正会員（一般）：青木哲郎、池尾允

正会員（海外）：桂華邦裕

・退会

植田義夫、門倉真二、亀屋暁人、野村哲、山口類、渡辺勇三、Weidelt Peter

3.2 シニア会員

次の 11 名のシニア会員申請が承認された（敬称略）。

荒木徹、上出洋介、木山喜隆、熊沢峰夫、桑島正幸、小島正宜、境孝祐、瀬川爾朗、遠山文雄、中村義勝、林幹治

3.3 入退会時の流れについての検討

- ・入退会申請の事務的な流れについて検討した。入会に対しては、MMBからの自動配信がなされ、退会に関しては、事務局が個別にメールを配信している。申請から承認までに時間がかかっており、改善策を検討する。

- ・年度の途中で退会した場合の対応について検討した。退会者の希望により、直ちに会報等の発送を中止するという方針は了承された。また、退会者が、学会からのMLの即時配信停止の希望がある場合には、事務局がML担当運営委員にメールで知らせて配信を停止することとなった。

4. シニア会員規約について

- ・シニア会員規約文について、改訂の意図するところが分かりにくいとの指摘が会員からあったため検討した。来期募集締め切りまでに再度提案する方向で進める。

- ・シニア会員規約の意図・趣旨については、HPに記載しており、これを会員に周知することにした。

5. 発明の新規性喪失の例外規定（特許法第30条）の適用について

- ・学会発表等の成果公表と特許の関係について説明された。本学会大会の発表についても発明の新規性喪失の例外規定が適用されるように申請を行うこととした。また、予稿集や刊行物の特許申請上の取り扱いについて確認された。

6. 名誉会員推挙

名誉会員候補者が推薦され、承認された。次回総会にて、報告を行う。

7. 会計関連

- ・会費納入状況が報告された。総額約 350 万円の未納金があり、早急に督促を行う。

- ・督促時に、銀行振り替えによる会費納入が可能であることも周知することとした。

8. 国際学術交流事業関連

8.1 国際学術研究集会出席補助金応募書類審査

- ・5件の申請について審議し、2件を採択することとした。

8.2 国際学術研究集会補助申請

- ・河野長会員による国際学術研究集会補助申請について審議し、採択した。

International Symposium: Fifty Years after IGY -- Modern Information Technologies and Earth Sciences --、平成 20 年 11 月 10 日から 13 日、産業技術総合研究所（つくば市）。

9. 山田科学財団申請学会推薦

- ・2 件の申請について審議し、相澤広記会員および中村卓司会員の申請を両者とも本学会から推薦することとした。

10. 秋学会関連

10.1 第 122 回講演会総括

- ・講演会参加者 408 名（会員一般 237 名、非会員一般 33 名、会員学生 33 名、非会員学生 125 名）。懇親会参加者は約 150 名。
- ・諸費用に、共催の太陽地球環境研究所の所長リーダーシップ経費を用いた。
- ・学生会員の確認をしっかりと行うべき。

10.2 第 124 回講演会準備状況

- ・会場（仙台市戦災復興記念館）の確保について、および、アウトリーチイベントの開催（10 月 13 日、仙台市天文台）について報告された。

10.3 第 124 回講演会までのスケジュール検討

- ・スケジュール案が提示され、確認の後、了承された。重要な日程は以下の通り。特別セッション公募：3 月－4 月上旬、セッション情報の最終締切：6 月 6 日、予稿投稿：6 月 20 日から 7 月 22 日、プログラム編成作業：8 月 25 日まで、プログラム送付：9 月下旬。

10.4 特別セッションの提案

- ・第 124 回講演会において地震学会と共催予定の特別セッション「電離圏－大気海洋－地震研究の接点（仮）」開催の提案がされ、承認された。

11. 学会連合関連

- ・教育問題委員会に、大学および大学院の教育について議論を行う検討委員会が立ち上がったことが報告された。

12. アウトリーチ関連

- ・秋学会でアウトリーチイベントを開催予定であることを確認した。
- ・堺市教育委員会「専門家による児童生徒学習支援事業」への本学会の協力状況について報告された。
- ・高校教諭から当学会の講師派遣システムを利用した講師派遣依頼があり、講師3名を紹介したことが報告された。
- ・アウトリーチ web への協力の再依頼を行い、来年度作成を行なう予定であることが報告された。

13. EPS 関連

- ・3月末に来年度の入札が予定されていることが報告された。
- ・3月10日からの週に今年度の発行状況についてテラパブと打ち合わせを行う予定。

14. 男女共同参画関連

- ・男女共同参画学協会連絡会の第6期幹事学会が日本地球惑星科学連合になったことが報告された。委員長は中村正人会員。
- ・男女共同参画学協会連絡会の主催で次の2つの会合が開催されることが紹介された。(1) 第6回シンポジウム、10月6日、京都。(2) 女子高生夏の学校、夏休み中。
- ・第122回講演会時の保育室確保についてのお礼とともに、第124回講演会時の保育室の確保についての要望が述べられた。
- ・2006年度ポスドクアンケート調査報告(案)が提示された。報告書確定の後、来年度印刷し配布することが承認された。本学会ホームページからも、pdfファイルにて公開予定。
- ・津田副会長より、ポスドク雇用形態の京都大学での取り組みが紹介された。

15. 学校教育 WG 報告

- ・高校地学関係者を対象とした冊子作成の進捗状況について報告された。現在は担当運営委員が査読を行うとともに、高校の教諭の意見も受け付けている。

16. 合同プラズマセッション報告

- ・合同プラズマセッションは、当初の 3 年の時限を終えたが、来年度以降も継続する方針であることが報告された。

17. Web 関連報告

- ・メインページ改修の進捗状況と今後の予定が報告された。次回の総会までに新 web ページを公開予定。

18. 学生発表賞関連

- ・評価基準についての検討結果が報告された。また、評価表案が提示され、評価項目についての議論を行った。
- ・学生発表賞規約の変更案が提示され、審議の結果、承認した。
- ・審査員へのお礼についての議論を行ったが、必要ないという意見が多かった。

19. 会報発行予定

- ・平成 20 年度会報発行予定日は以下のとおり。
(1) 5 月 2 日 (原稿締め切り 4/10) (2) 7 月 1 日 (3) 9 月 30 日 : 秋学会プログラム (4) 12 月 10 日 : 役員選挙

20. 学会創立 60 周年記念事業

- ・会長経験者、名誉会員、シニア会員への原稿依頼・投稿状況が報告された。
- ・荒木会員が作成した、原稿依頼を希望する会員、元会員のリストが提示された。

21. 集中審議事項

21.1 連合将来構想対応

- ・地球惑星科学連合法人化案についての要望 (案) が提示され、議論をおこなった。セクション制と会費徴収に対して具体的な要望を盛り込むこととした。

21.2 委任状電子化

- ・委任状電子化についての検討結果が報告された。電子委任状には、議事は記載せず、また、委任先は議長のみとすることとした。個人への委任は、これまで通り紙面による委任状に限られる。電子委任状の受付期日を総会の前日まで

する。本年5月の総会時に施行予定。

21.3 分科会規定

- ・分科会規定の説明と、設立承認願、および、閉会願文書のひな形が提示された。内容と修正点の確認の後、規定案を承認した。
- ・今後、分科会世話人に周知し意見を募り、総会に諮る。

21.4 分科会設置・廃止

- ・1件の設置申請があり、承認した。(1) 太陽地球惑星系科学シミュレーション分科会(発起人:篠原育会員他)
- ・3件の閉会申請があり、承認した。(1) 宇宙飛翔体環境研究会、(2) プラズマ粒子シミュレーション研究会、(3) アラスカロケット研究会

21.5 分科会活動

- ・文部科学省「特定高速電子計算機施設の共用の促進に関する基本的な方針に対する意見募集について」に対する意見募集について、「太陽地球惑星系科学シミュレーション分科会」が意見をまとめてSGEPSS分科会の名前で提出することが承諾された。

22. その他

22.1 新しい表彰制度の提案

- ・技術、研究支援、教育・啓蒙活動などに多年にわたって功績をおさめた会員/非会員に対する表彰制度が提案された。賞授与の頻度、対象者数等の事項について次回運営委員会までに具体化し、審議を行う。

22.2 SGEPSS 法人化

- ・SGEPSS 法人化についての議論を開始することの提案があった。本学会としてのメリットを明確にする必要があり、今後、議論をおこなう。

23. 次回開催日確認

5月26日(月) 運営委員会 (連合大会)

5月27日(火) 評議委員会

5月29日（木）総会

（清水久芳）